

穂 学



令和4年度

広島日本人学校 学校便り

[No.14]

令和4年10月21日(金)

発行責任者 校長 加藤康德

「転出児童生徒へのアンケート結果について」

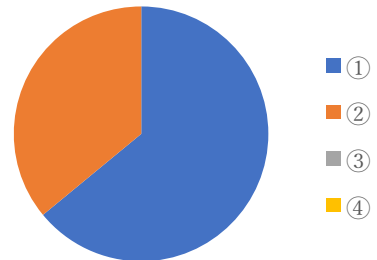
広島日本人学校では、子ども達への教育をより進化・深化させるために2021年4月より学校経営スローガンを「つながりを未来に実感させる広島日本人学校の創造」と設定し、日々の教育活動に組んでおります。そこで、かつて在籍していた子ども達が広島日本人学校を転学、あるいは進学した後も、どのように広島日本人学校を「実感してくれているのか」を知り、その結果を次年度の学校経営に生かすことを目的に本校を去った児童生徒にアンケート用紙への記入をお願いしました。※昨年度から今年度にかけて転出した児童生徒で、連絡が取れる保護者のメールに無作為でアンケートを送信（回答数22名）

<アンケートの集計結果>

① とてもそう思う。 ② そう思う。 ③ あまり思わない。 ④ まったく思わない。

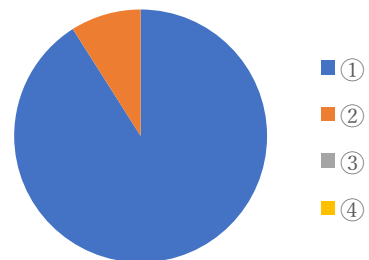
1. 広島日本人学校の先生から学んで良かったと思うか。

①	②	③	④
64%	36%	0%	0%



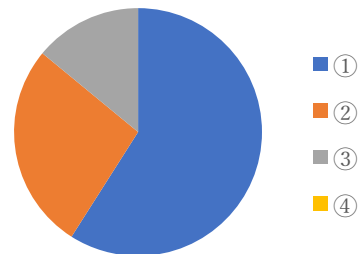
2. 広州の地域（中国、広東省、広州市など）で学んで良かったと思うか。

①	②	③	④
91%	9%	0%	0%



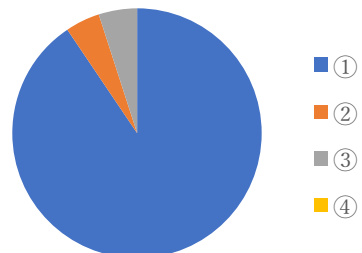
3. 広島日本人学校から次の学校に編入学・進学できて良かったと思うか。

①	②	③	④
59%	27%	14%	0%



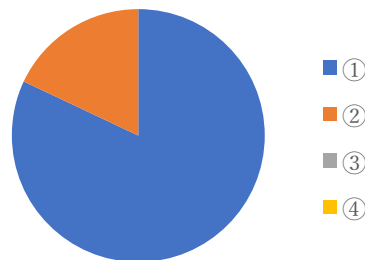
4. 広島日本人学校の友だちと学べて良かったと思うか。

①	②	③	④
91%	4.5%	4.5%	0%



5. 広州日本人学校で学んで良かったと思うか。

①	②	③	④
82%	18%	0%	0%



このアンケート結果も参考にして、来年度に向けての学校経営を見直します。新たな学校経営の方針については全体懇談会などを通して保護者の皆様にご説明いたします。

「子どもとのつながりの紹介」

＜学校経営のスローガン＞
「つながり」を「未来に実感」させる
 広州日本人学校の創造

＜大切にしている5つのつながり＞

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり

＜宿泊学習（中1）10/13-14＞



＜オイスカ幼稚園保育実習（中3）10/17＞

○中学部3年生がオイスカ幼稚園で保育実習を行わせて頂きました。



＜ある生徒の感想＞

「・・・自分の中で頑張れたと思うことは、優しい言葉づかいをすること、そして幼稚園児の目を見て反応することです。話はつきないけれど、一気に様々な方向から話しかけられるのでこの2つを達成するのはとても難しいので、保育士さんたちの凄さを学ぶことができました。いろいろな発見や反省があり、そこから様々なことを学ぶことができました。今回の学びを生かし、今後の学習や園児との関わり方につなげていきたいと思います。」



＜茶道体験（小6）10/18＞



○社会科の学習で室町時代のお茶の文化や戦国時代の茶の湯について学習をしました。

○茶道裏千家広州在住の「野村真弓」氏を講師に迎え、本校の和室で小学部6年が茶道を体験しました。

＜お礼のお手紙を書きました＞

